



## 日本大学文理学部国文学科 日本語学基礎演習2

### はじめに

各ジャンルにおける  
年代別キャライメージの比較

方言イメージと  
週刊少年ジャンプにおける  
方言キャライメージの  
関係について

外国人と地元の  
方言キャラクター

少女漫画における  
方言による作品世界と  
方言の基本イメージの関係

少年マンガにおける  
方言を利用した  
キャラの差別化

あとがき

 

## はじめに

田中ゆかり

### ▶ 1.このサイトの背景

このサイトは、2012年度後期（水曜4限）に開講した基礎演習2の授業成果報告です。「基礎演習」は、国文学科の専門科目のひとつで、2年次配当の選択必修科目で、3・4年次からの特殊研究ゼミナール選択のためのプレゼミという位置づけにある科目です。国文学科では大きく日本文学・日本語学・諸学の3分野に分かれており、担当教員の専門によって学習する内容が異なります。田中担当の基礎演習は、現代日本語学の方法を学ぶことを目的としています。

2012年度は、マンガにあらわれる日本語の「方言」がどのように作品中で用いられているか調査・検討することをこの科目の目標としました。一連の作業・分析を通じて、現代の日本語社会において「方言」がどのように受容されているのかをみていくこととなります。本冊子は、この「基礎演習2」履修者によるレポートを、まとめたものです。

### ▶ 2.授業の方法

この授業は、グループによる演習形式で行いました。授業開始期の全体討議により、グループごとの調査目標を定めました。各グループは、目標に従い調査企画を立て、調査企画についての発表を通じて、調査企画を練り直しました。立て直した調査企画に基づき、グループごとにデータ収集と分析を行い、分析結果の一部について発表を行いました。発表者は、対面やメイリングリスト経由で発表に対するフィードバックを受け、2種類の最終課題（冊子報告書、web報告書）を作成しました。なお、この授業は、PC室で、実習を伴うものであったため、林直樹さん（博士後期課程2年・RA）による授業補助を得ました。また、クラスの運営に科目専用のメイリングリストを構築しました。

### ▶ 3.授業の進め方

この授業は次のようなスケジュールで行いました。

- 第01回 09/26 ガイダンス、グループ分け ※1班：3～4人
- 第02回 10/03 調査方針・班ごとの担当項目検討
- 第03回 10/10 調査方針・班ごとの担当項目検討
- 第04回 10/17 調査方法・項目検討
- 第05回 10/24 調査方法・項目確定 ※10/31補講期間（各班調査）
- 第06回 11/07 各班分析
- 第07回 11/14 各班分析
- 第08回 11/21 各班報告準備
- 第09回 11/28 報告1（高田班）
- 第10回 12/05 報告2（澤本班・加藤班）
- 第11回 12/12 報告3（細山班・小林班）
- 第12回 12/19 データ持ち寄り&グループごとに報告書内容など検討
- ...冬休み...
- 第13回 01/16 冊子データ集積・整形
- 第14回 01/23 HPデータ集積・整形
- 第15回 01/30 課題最終提出

### ▶ 4.参考文献

授業の導入として以下の文献やサイトを示しました。

#### 【方言マンガ探索資料】

[雑誌]

このマンガがすごい！編集部(編)(2008). [ご当地マンガMAP](#) このマンガがすごい！SIDE-B. 宝島社

[ウェブ]

[exite.ボックス](#) [本・読み物ポータルTOPICS](#) ニュースな本棚 [方言ヒロインを探せ（うめ/難民チャンプ）](#)

[集英社マンガネット](#)

[小学館コミック](#)

[講談社コミックプラス](#)

[yahoo!コミック](#)

#### 【参考文献】

木下順二(1982). [戯曲の日本語](#) 大野晋・丸谷オ一(編) 日本語の世界12 中央公論社

金水 敏(2003). [ヴァーチャル日本語 役割語の謎](#) 岩波書店

金水 敏(編著)(2007). [役割語研究の地平](#) くらしお出版

金水 敏(編著)(2011). [役割語研究の展開](#) くらしお出版

小林隆編(2007). [シリーズ方言学3 方言の機能](#) 岩波書店

定延利之(2005). [ささやく恋人, りきむレポーター 口の中の文化](#) 岩波書店

定延利之(2006). [日本語不思議図鑑](#) 大修館書店

定延利之(2011). [日本語社会のぞきキャラくり](#) 三省堂

佐藤和之・米田正人(1999). [どうなる日本のことば](#) 大修館書店

田中ゆかり(2011). [「方言コスプレ」の時代—ニセ関西弁から龍馬語まで—](#) 岩波書店

中井精一(2004). [お笑いのことばと大阪弁—吉本興業の力とは—](#) 日本語学, 23(10).

松本修(2010). [「お笑い」日本語革命](#) 新潮社

『文学』《特集》ステレオタイプ, 7(6), 岩波書店

『文学』《特集》言と文, 8(6), 岩波書店

【授業成果報告サイト】[2009年度授業報告「マンガに現れる方言」](#)